

国語－14（第3学年） 物語や小説などを読んで批評する事例（読むこと）  
【学習活動の概要】

<p>1 単元名 『走れメロス』を読んで批評する～構成や展開，表現の仕方を評価する～</p>																
<p>2 単元の目標 『走れメロス』を読んで，細部の叙述や物語全体の構造について批評することができる。</p>																
<p>3 評価規準 【国語への関心・意欲・態度】 自分なりに気付いたことを基に，作品を批評しようとしている。 【読む能力】 ・話の展開の仕方，場面や登場人物の設定の仕方をとらえ，気になったり，感じたりしたことを書き出している。 ・細部の叙述や物語全体の構造について自分なりの評価を書いている。 【言語についての知識・理解・技能】 表現の技法や抽象的な概念を表す語句，慣用句や漢語表現などに留意しながら文章を読んでいる。</p>																
<p>4 教材 『走れメロス』（太宰治）</p>																
<p>5 主な学習活動 (1)単元の展開（全5時間）</p> <table border="1" data-bbox="255 1041 1404 1579"> <thead> <tr> <th data-bbox="255 1041 359 1108"></th> <th data-bbox="359 1041 949 1108">学習活動</th> <th data-bbox="949 1041 1404 1108">言語活動に関する指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="255 1108 359 1243">第1時</td> <td data-bbox="359 1108 949 1243">『走れメロス』を批評するという目的意識をもたせ，学習の見通しをもつ。使われている語句の効果など，表現上の工夫をとらえる。</td> <td data-bbox="949 1108 1404 1243">○「批評」とは，「対象とする事柄について，そのもののよさや特性、価値などについて論じたり，評価したりすること」という意味で，良い点を見つける視点も含まれていることを確認させる。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="255 1243 359 1377">第2時</td> <td data-bbox="359 1243 949 1377">話の展開の仕方，場面や登場人物の設定の仕方を確認し，内容が理解しやすかった表現（場面）や理解しにくかった表現（場面）を取り出す。</td> <td data-bbox="949 1243 1404 1377">○批評する際に用いる語彙を例示し，批評することへの足がかりにさせるとともに，感想文との違いを，使用する語彙からもとらえさせる。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="255 1377 359 1467">第3～4時 (本時)</td> <td data-bbox="359 1377 949 1467">前時で取り出した表現（場面）を基に，細部の叙述や作品全体の構造について批評する。</td> <td data-bbox="949 1377 1404 1467">○他の小説を読む学習に広げるようにする。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="255 1467 359 1579">第5時</td> <td data-bbox="359 1467 949 1579">学校図書館で小説を探して読み，場面の展開や表現の仕方を評価して，気が付いたことをメモする。</td> <td data-bbox="949 1467 1404 1579"></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)本時の学習（3・4/5時間）</p> <table border="1" data-bbox="255 1646 1404 1960"> <tr> <td data-bbox="255 1646 1404 1960"> <p>① 前時に取り出した，内容が理解しやすかった表現（場面）や理解しにくかった表現（場面）について確認する。 ② 批評する際に用いる語彙について考える。 ・感想を述べる際に用いる語彙と批評する際に用いる語彙を挙げる。 ・挙げた語彙が，内容の是非によってどのように使い分けられるのかを考える。 ③ 細部の叙述や作品全体の構造について批評する文章を書く。 ④ 自分の批評を見直す。 ・それぞれの批評の内容をグループで交流する。 ・『走れメロス』に対する自分のものの見方や考え方を振り返る。</p> </td> </tr> </table>		学習活動	言語活動に関する指導上の留意点	第1時	『走れメロス』を批評するという目的意識をもたせ，学習の見通しをもつ。使われている語句の効果など，表現上の工夫をとらえる。	○「批評」とは，「対象とする事柄について，そのもののよさや特性、価値などについて論じたり，評価したりすること」という意味で，良い点を見つける視点も含まれていることを確認させる。	第2時	話の展開の仕方，場面や登場人物の設定の仕方を確認し，内容が理解しやすかった表現（場面）や理解しにくかった表現（場面）を取り出す。	○批評する際に用いる語彙を例示し，批評することへの足がかりにさせるとともに，感想文との違いを，使用する語彙からもとらえさせる。	第3～4時 (本時)	前時で取り出した表現（場面）を基に，細部の叙述や作品全体の構造について批評する。	○他の小説を読む学習に広げるようにする。	第5時	学校図書館で小説を探して読み，場面の展開や表現の仕方を評価して，気が付いたことをメモする。		<p>① 前時に取り出した，内容が理解しやすかった表現（場面）や理解しにくかった表現（場面）について確認する。 ② 批評する際に用いる語彙について考える。 ・感想を述べる際に用いる語彙と批評する際に用いる語彙を挙げる。 ・挙げた語彙が，内容の是非によってどのように使い分けられるのかを考える。 ③ 細部の叙述や作品全体の構造について批評する文章を書く。 ④ 自分の批評を見直す。 ・それぞれの批評の内容をグループで交流する。 ・『走れメロス』に対する自分のものの見方や考え方を振り返る。</p>
	学習活動	言語活動に関する指導上の留意点														
第1時	『走れメロス』を批評するという目的意識をもたせ，学習の見通しをもつ。使われている語句の効果など，表現上の工夫をとらえる。	○「批評」とは，「対象とする事柄について，そのもののよさや特性、価値などについて論じたり，評価したりすること」という意味で，良い点を見つける視点も含まれていることを確認させる。														
第2時	話の展開の仕方，場面や登場人物の設定の仕方を確認し，内容が理解しやすかった表現（場面）や理解しにくかった表現（場面）を取り出す。	○批評する際に用いる語彙を例示し，批評することへの足がかりにさせるとともに，感想文との違いを，使用する語彙からもとらえさせる。														
第3～4時 (本時)	前時で取り出した表現（場面）を基に，細部の叙述や作品全体の構造について批評する。	○他の小説を読む学習に広げるようにする。														
第5時	学校図書館で小説を探して読み，場面の展開や表現の仕方を評価して，気が付いたことをメモする。															
<p>① 前時に取り出した，内容が理解しやすかった表現（場面）や理解しにくかった表現（場面）について確認する。 ② 批評する際に用いる語彙について考える。 ・感想を述べる際に用いる語彙と批評する際に用いる語彙を挙げる。 ・挙げた語彙が，内容の是非によってどのように使い分けられるのかを考える。 ③ 細部の叙述や作品全体の構造について批評する文章を書く。 ④ 自分の批評を見直す。 ・それぞれの批評の内容をグループで交流する。 ・『走れメロス』に対する自分のものの見方や考え方を振り返る。</p>																

【解説】

【指導事例と学習指導要領との関連】

本事例では、中学校学習指導要領・国語の第3学年「読むこと」の指導事項「イ 文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。」と、「ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。」を指導する。他学年との系統性については、特に、第1学年「読むこと」の指導事項「エ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつこと。」や第2学年「ウ 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること。」を踏まえ、自分の考えを表現する際に、どのような語彙を用いてどのように示せば「評価すること」になるのかがとらえられるよう指導する。

さらに、関連する内容として、〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕「(1)イ(イ) 慣用句・四字熟語などに関する知識を広げ、和語・漢語・外来語などの使い分けに注意し、語感を磨き語彙を豊かにすること。」を位置付ける。これは、文章を解釈する際に、表現の技法や抽象的な概念を表す語句、慣用句や漢語表現などに留意しながら読ませることを意図している。『走れメロス』には、このような表現が多く用いられており、それらの使い方にも着目させながら、批評へとつなげさせる。

【言語活動の充実の工夫】

上述の内容を効果的に指導するために、言語活動を設定する。第3学年「読むこと」の言語活動例は、次の3つであり、本事例では、アの言語活動例を具体化した。

ア 物語や小説などを読んで批評すること。

イ 論説や報道などに盛り込まれた情報を比較して読むこと。

ウ 自分の読書生活を振り返り、本の選び方や読み方について考えること。

文章の解釈を踏まえて評価させる際に、生徒の思考や判断を促すために、右のような語彙の使い分けに着目させる方法が考えられる。指導上の留意点としては、例えば単に「すばらしい」などの語を使えばよいということではなく、何に着目してどのように考えて判断した結果「すばらしい」という評価になったのかを明らかにさせるということである。また、「読み手に～という効果を与えている」、「～という点が巧みだ」、「読み手に～という疑問を与える」、「～という点で矛盾している」などの言い表し方を併せて例示すると、生徒の思考や判断をより促すことができる。

実際の生徒の批評では、その内容に次のような傾向が見られた。

<何（どこ）に着目して批評したのか>

- ・メロスの言動に関して 40%
- ・登場人物の設定や言動に関して 30%
- ・結婚式の日取りに関して 8%
- ・時間の経過や町までの距離に関して 7%
- ・作品中の伏線に関して 6%
- ・語り手の変化に関して 5%
- ・書き出しの一文に関して 2%
- ・その他 2%

本時の後半では、それぞれが着目し批評した内容についてグループで交流して、作品に対する他の人のものの見方や考え方を取り入れることで、自分のものの見方や考え方をより広くさせたり深くさせたりする。

なお、学習評価に当たっては、評価規準に従って、『走れメロス』の細部の叙述や全体の構造について、自分なりのものの見方や考え方が示されているかなどで評価する。

感想や批評に関する語彙の使い分けの例

